



袋小だより

令和5年1月号

北区立袋小学校

URL <http://www.city.kita.tokyo.jp/gakkoshien/kosodate/shogakko/gakkojoho/kuritsu/fukuro/index.html>



新しい1年を始めましょう

校長 新紺 明典

明けましておめでとうございます。穏やかに新年を迎えられたことと存じます。

今年も、保護者や地域の皆様と共に、全力で教育活動を実践して参ります。どうぞよろしく願いいたします。

冬休みが終わり、子供たちが学校に戻ってきました。令和5年の始まりです。コロナ禍は収まる気配が感じられませんが、規制が緩和され、年末年始は御家族や近しい方々と過ごし、「久しぶりに会えたね。大きくなったね。令和5年はどうなるかね？きっといい年になるよね。」などとたくさん話したのではないのでしょうか。新しい年に期待が膨らみます。

今年も干支から令和5年（2023年）を考えてみます。（諸説あるとは思いますが。）令和5年（2023年）の干支は「癸卯（みずのと う）」です。

「癸」（みずのと）の文字の意味は、生命の循環で言えば最後に位置し、次の生命を育む準備が完了した状態を示しているそうです。

「卯」（う）は十二支の4番目で、草木が地面を覆うような状態を表し、萌え出る春のイメージとされています。

「癸卯」（みずのと う）は「寒気が緩み、萌芽を促す」、厳冬が去り春の兆しが訪れたことを表しているそうです。

昨年は「壬寅」（みずのえ とら）は「陽気を孕み、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になると学校便りに記しました。思っていたほどではありませんが、ウィズコロナの考えが広がり、制限が解除されてきました。日本の十干十二支の言い伝えは当たっていたかもしれません。「卯年」は「跳ねる」とも言います。もちろん新型コロナウイルス感染症に注意しつつ、希望を胸に令和5年の教育活動を進めていきます。地域や保護者の皆様、関係する機関と共に教育活動を進めていきます。是非お力添えをいただきたく、お願いいたします。



1月行事予定



日	曜	内容	日	曜	内容
10	火	A4 校内席書会（5,6年） 安全指導	23	月	クラブ（クラブ見学3年）
11	水	校内席書会（1～4年）	24	火	B6 北区連合展見学（5年）
12	木	A5（1～4年） 委員会	25	水	A4
13	金	B6	26	木	避難訓練 北区連合展覧会終
14	土		27	金	B5 校内書き初め展終 社会科見学（3年）
15	日		28	土	
16	月	B5	29	日	
17	火		30	月	委員会（2月分）
18	水		31	火	
19	木	B6	1	水	
20	金	北区連合展覧会始	2	木	B5
21	土	A3 土曜授業（公開）校内書き初め展始	3	金	B6 新1年生保護者会
22	日		4	土	



※1月21日（土）の公開と書き初め展につきましては、後日配布する手紙をご覧ください。

展覧会 12月8日(木)・9日(金)・10日(土)

図工専科 高野 愛

展覧会には多くの保護者、地域の皆さまにお越しいただき、ありがとうございました。80周年記念式典の際にも会場を彩った共同制作、数々の作品を通して成長やそれぞれの表現のよさを感じていただけたと思います。子供たちにとっても友達や他の学年の作品に触れるよい機会となりました。表現には正解はありません。悩んで自分なりの表現を見付けることや、もっとこうしてみようと考えて工夫していくことが一人一人の成長を促し、人生を豊かにしていくと思っています。(以下展覧会の鑑賞カードより。)

- ・6ねんせいの水のながれのようにが、いろいろないろがあつてゆめの中にいるようなかんかくでした。ずっとここにのこしておきます。(1年生)
- ・ゼログラビティワールドがうちゅうでパーティーをしてるみたいで好きです。(2年生)
- ・体育館がゆめの世界みたいになってすごいなと思いました。作品でたくさんになった体育館ははじめて見ました。この作品は、どうやって作ったのか考えると、おもしろいなと思いました。これからの作品が楽しみに思えてきました。(3年生)
- ・一人一人のこせいがあふれていて、みんなちがう作品だけど思いは一つになったのかなと思いました。心が楽しくなるようなてらん会でした。(4年生)
- ・これからのつくりかた、工夫などの参考になりました。学年を越え、図工、芸術について考え直す良い機会だったと思います。どの作品もカラフルで個性的で、魅力的で、とってもすてきでした。もっとじっくり見たくてもう1時間ほしい位です。(5年生)
- ・鑑賞して楽しく時間があつという間にすぎていきました。みんなの個性が出ていてよかったです。一人一人のすてきなところや美しいところが見られてとてもうれしかったです。物の見方や一人一人のがんばりなど、様々なことに目を向けることができました。友達と協力し合いながら大きな作品を作ったり、話し合ったりして仲を深め、物事の見方について考えていけばいいなと思います。(6年生)

外国語活動・外国語科

外国語担当 増屋 由希恵

袋小では、ALTのドロシー先生といっしょに外国語活動・外国語科の学習を行っています。

低学年は、歌やゲーム、ジェスチャーなどの活動を通して、発音を聞いたり、真似して言ったり、友達とコミュニケーションを図ったりと、楽しみながら外国語に慣れ親しんでいます。

中学年は、「Let's Try!」という副読本に沿って学習が行われます。様々な活動を通して、外国語活動に慣れ親しむとともに、映像資料などを通して、様々な国の挨拶や生活スタイル、文化の違いなどに気付くことも学習の一つです。また、テーマに沿って、友達に尋ねたり、伝えたりと、外国語でのコミュニケーション活動を行っています。

高学年は、「NEW HORIZON」という教科書に沿って学習が行われます。低・中学年で学んだことを生かし、外国語の音に慣れ親しむとともに、活字体の文字を読んだり、書いたりします。また簡単な語句や表現を書き写すなど、書く学習活動が増えます。その他にも、テーマに沿って、友達に紹介したり、理由を説明したりするなどの活動も行っています。高学年は、週1時間の外国語科の学習に加え、週に3回、朝の学習時間にモジュール学習も行っています。

2階の廊下には、ドロシー先生が作成した季節にあった掲示物があります。今回のテーマは「冬休み」。ドロシー先生の母国であるカナダの様子が紹介されています。また、「What do you do in winter?」という質問に対し、色々な学年の子たちが、それぞれやりたいことや食べたいものなどを書き込んでいます。ぜひ学校にお越しの際に、ご覧ください。

